

## プロジェクトリーダー: 南山大学 総合政策学部 石川良文教授

### 事業実績調書

(1) プロジェクト名	瀬戸市居住促進のための地域の魅力収集と情報発信
(2) プロジェクトの成果 (※そのような成果が得られたかについて具体的に記載)	<p>①居住促進につながる地域情報ポータルサイトの作成</p> <p>2月28日現在のホームページの閲覧数は2,622名(各ページ総アクセス数8,411)であり、多くの方に瀬戸市の魅力情報を発信できた。なお、ホームページの宣伝のために作成したポストカードを合計1,400枚配布した。南山大学石川ゼミ生主催の情報発信イベントで行ったアンケートでは、『ホームページを見て参考になった』という回答は全体の95%という結果になった。このようなアンケート結果からホームページによる情報発信は効果があったものと考えられる。また、ホームページの内容だけではなく、デザインに関しても大変高い評価が得られた。</p> <p>②居住促進につながる情報発信イベントの開催</p> <p>市内外から173名の来場があった。イベント翌日(11月21日)には中日新聞に記事としてイベント内容が紹介され広く発信できた。イベントではアンケートも実施したが、ターゲットとしていた若い層、小さな子供のいる家族連れが多く参加したことが分かった(回答者数72人)。イベントの内容別では、瀬戸の美味しいものを紹介する試食、ハイハイレース、DIY、フォトコンテスト等に高い評価があった。訪れた方の9割以上が、「イベント参加により新しい発見があった」と回答しており、市内外の方に有効な情報の発信ができたといえる。</p>
(3) プロジェクト実施内容 (※事業の実施方法、時期、場所、回数、市民への周知方法、参加人員等を含め、その内容を具体的に記載)	<p>本プロジェクトでは、①「居住促進につながる地域情報ポータルサイトの作成」と②「居住促進につながる情報発信イベントの開催」を行った。</p> <p>①居住促進につながる地域情報ポータルサイトの作成</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・サイト名「知ってせと、住んで瀬戸。」 URL <a href="http://www.standsetup16.com/">http://www.standsetup16.com/</a></li></ul> <p>居住促進ポータルサイトの企画から開設までを以下のプロセスで進めた。まず、居住選択に必要な情報を検討し、その情報収集を行った。掲載内容は、カテゴリー別やエリア別などをまとめ、文字、写真情報だけでなく、動画も掲載し、瀬戸市の生活における利便性を伝えることを目的とした。また、主要スポットや魅力的な店舗をリストアップし、実際に施設や店舗を訪問し、協力依頼、写真撮影を行った。取材内容に基づき、9月中旬から原稿の作成を行い、10月中旬から完成したサイト原稿を協力者・協力店舗に確認してもらった後、11月1日に一般公開を開始した。周知方法として、ポストカードを作成し、配布を行った。</p> <p>②居住促進につながる情報発信イベントの開催</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・イベント名「Live in せと!!」 2016年11月20日(日) 瀬戸蔵4階多目的ホールにて開催。</li></ul> <p>イベントでは、子供向けの体験ブース、フォトコンテストブース、ツクリテ紹介ブース、DIY紹介ブース、瀬戸市の美味しいもの試食ブース、不動産紹介ブース、瀬戸市のPR動画上映ブースの計7ブースとハイハイレース、瀬戸クイズ、アンケートを実施した。周知方法として、チラシを作成、配布を行った。</p>
(4) プロジェクトの今後の課題と展望	<ul style="list-style-type: none"><li>・居住促進ポータルサイトの情報更新と引継ぎ後の体制と管理をどうするか。</li><li>・居住促進ポータルサイトの閲覧数をどのように継続的に増加させるか。</li><li>・更に新しい取り組みとして効果的な情報発信を検討すること。</li></ul>

参考資料 (写真)



プロジェクト詳細検討会議



都市計画課・空き家対策団体・作家との意見交換



瀬戸市居住促進ポータルサイトの作成



ポータルサイト掲載用写真撮影



情報発信イベント (1)



情報発信イベントの様子 (2)

〈トップページ〉

